

事例で考える 終末期ケア



心理的アプローチとグリーフケアのポイント

「声をかけづらい場面のコミュニケーション」が豊富な事例で理解できる
看護師自身の心理的負担も軽減する充実したかかわりと振り返りの具体策!

終末期ケアに携わる看護師は患者の死を避けて通ることはできず、無力感やジレンマに苛まれることがあります。しかし、終末期に患者や家族と充実したかかわりを図ることができれば、患者・家族だけでなく、看護師自身の負担軽減にもなります。本セミナーでは、終末期ケアにおける心理的アプローチの方法や悲嘆にある家族・遺族への対応、そして看護師自身の感情の扱い方などを学び、終末期ケアのスキルを高めます。

広瀬寛子氏 戸田中央総合病院 カウンセリング室 室長
 ナース・カウンセラー

石川県立中央病院で看護師として勤務。その後、大学院で学び、東京大学医学部健康科学・看護学科で助手を務める。東京都精神医学総合研究所医療看護研究部門の主任研究員として、がん患者のための看護カウンセリングや、サポートグループ研究を行う。現在は、戸田中央総合病院看護カウンセリング室の室長として、患者、家族、遺族、職員の心のケアに携わっている。特に、終末期の患者・家族の看護カウンセリングと遺族のサポートグループに力を注いでいる。著書に、『看護カウンセリング』(医学書院)などがある。

福岡 18年10月20日(土) 福岡朝日ビル地下1階会議室
大阪 18年11月10日(土) 田村駒ビル

【講義時間】いずれも10:00~16:00

参加料 一般 18,500円 会員 15,500円
 ※会員は日総研会員制・専門雑誌の年きめ購読者です。
 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数14人。

患者・家族の心に響く「声かけ」「聴き方」「伝え方」が分かる

プログラム

1. 患者に寄り添うということ
2. 家族の心理
 - 1) 患者を看取る家族が抱く思い
 - 2) 遺族の心理
 - 3) 家族・遺族が傷つく言葉
3. 終末期患者への心のケア
 - 1) 終末期におけるコミュニケーションの基本的姿勢
 - 2) 「分かって」とすることの重要性
 - 3) 対話の中で特に気をつけるべき点
 - 4) 触れることの意味
4. 遺族の悲嘆を癒やすグリーフケア
 - 1) 家族の不安・悲しみに応えることの重要性
 - 2) グリーフケアにおいて看護師が配慮するポイント
 - 3) グリーフケアの一環としての死後のケア
5. 看護師の感情を大切にすること
 - 1) 切り捨てられてきた看護師の悲嘆
 - 2) 感情労働 3) 自己一致 ほか
6. 事例で考える「声をかけづらい場面」でのコミュニケーション
 - 1) 怒りの感情をぶつけてくる患者・家族
 - 2) 「死にたい」「もう死なせて」などの希死念慮
 - 3) 「もう頑張れない」「どうでもいい」などの諦めの訴え ほか
7. 終末期ケアの充実を図るデスカンファレンス
 - 1) デスカンファレンスの意義と進め方
 - 2) 亡くなった患者を語ることの重要性
 - 3) デスカンファレンスでありがちな失敗とその対策

お客様の生の声は 日総研 13840 **検索**

ホームページ 毎週更新 現場から生まれた専門性を磨く研修と教材 日総研 **検索**

がん患者ケア、早期の緩和ケアを推進する! エンド・オブ・ライフケア

End-of-Life Care

会員制 隔月刊誌 B5判 112頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,514円(共に税込)

5-6月号
 特集

どうする? 終末期ケアの倫理的ジレンマ
 ・本人は意思の表出が難しく家族の判断に従うが、そこに何らかの課題を感じるケース ほか

日総研 エンドオブライフケア **検索**

▶詳細はホームページで www.nissoken.com

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書		▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所	TEL()	—	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
心理的アプローチと グリーフケアのポイント [13840]	ふりがな			〒	—		
	氏名 (受取 確認者)						送付先 自宅 ・ 勤務先
↓参加地区に✓印を	生年月日	西暦	19 年 月 日				
[28] <input type="checkbox"/> 福岡 10/20	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください						
[29] <input type="checkbox"/> 大阪 11/10	お客様コード	役職・部署		勤務先名			
ご連絡をお送りします。メールアドレス							

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研会員制・専門雑誌の年きめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報に目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy